

第71回 大阪中学校選手権大会 女子決勝リーグ 戦評

平成29年7月28日 A① 10:00	和泉市立和泉中学校	10	11	15	7		43
はびきのコロセアム	高石市立取石中学校	28	21	18	15		82

主審：北村仁 副審：浅野祐樹

和泉④⑤⑥⑧⑩、取石⑥⑦⑧⑩⑪でスタート。取石⑪がジャンプシュートを決め、さらに立て続けに取石⑩のターンシュート、⑧のリバウンドシュートが決まり、和泉が前半1回目のタイムアウト。その後は和泉⑥がドライブシュートを連続で決め、また和泉⑧がリバウンドシュートで応戦する。一方、取石は⑩にダブルチームを仕掛けられるが、外への合わせのパスで⑥⑦が3Pシュートを決める。1Q終了、10-28。2Qは和泉⑥のレイアップシュートからスタートするも、取石が⑧⑩のポストプレイや速攻で加点。和泉は2回目のタイムアウトを取る。その後、和泉はスクリーンプレイや合わせなどで加点するが、取石もポストプレイを中心とした攻撃で着実に加点していく。前半を21-49で終える。

後半は和泉④⑤⑥⑧⑩、取石⑥⑧⑩⑪⑭でスタート。取石は⑩を中心にターンシュート、ドライブシュートで点を取る。和泉は⑥のドライブシュートが決まるようになり、シュートが外れてもリバウンドボールを決める。3Q終了で36-67。4Qは取石⑦のドライブから始まる。和泉は⑧のジャンプシュートや⑥の1対1で応戦。その後も取石は⑦のゴール下や⑥の3Pで加点していく。和泉も⑩の3Pなどで最後まで粘り強く戦うが、43-82で取石が勝利した。

武本・印南

平成29年7月28日 B① 10:00	大阪薫英女学院中学校	27	19	24	11		81
はびきのコロセアム	富田林市立喜志中学校	3	2	6	0		11

主審：西田尚樹 副審：河崎亮介

薫英④⑤⑦⑧⑩、喜志④⑤⑥⑦⑭でスタート。薫英④の3Pが開始直後に決まる。その後も積極的にシュートを打ち、そのリバウンドを拾い、10点連取する。一方の喜志はシュートを打つも、薫英の堅いディフェンスに阻まれる。喜志は開始4分後に⑦のフリースローで得点をあげる。薫英がタイムアウトを取り、その後もコートにワイドに使ったパス回しのはやいバスケットで加点し、27-3で1Q終了。2Qに入り、薫英はメンバーチェンジを行いながらも⑩、⑭のポストプレイでオフェンスを組み立てる。対する喜志はドライブからの合わせで得点を奪う。薫英のディフェンスが喜志の得点を許さず、交代で入った⑧がドライブやジャンプシュートを決め、46-5で前半終了。

3Qは共にスターティングメンバーでスタート。薫英は⑧のポストプレイやリバウンドシュートを確実に決めたり、激しいディフェンスからのファーストブレイクで得点を重ねる。喜志は⑤がドライブやシュートを狙い得点し、70-11で終了。4Qに入ると互いにシュートが決まらず得点が奪えない。最後までディフェンスもルーズボールも主導権を握り続けた薫英が81-11で決勝リーグ第一戦を勝利で飾った。

海野・福森

平成29年7月29日 A① 10:00	高石市立取石中学校	22	13	20	24		79
八尾ウイング	富田林市立喜志中学校	2	4	7	0		13

主審：塩見陽介 副審：杉山峻貴

取石⑥⑦⑧⑩⑪、喜志④⑤⑥⑦⑩。開始早々、取石⑧のリバウンドで先制。その後も取石は激しいディフェンスから速攻を出していく。対する喜志は強気に1対1にいくものの、なかなかシュートが決まらない。着々と得点を重ねた取石が22-2とリードして1Qを終える。2Q開始直後、取石⑭の3Pが決まるが、すぐさま喜志が⑥のリバウンドシュートを返す。スティールからの速攻やジャンプシュートで4点を奪う。しかし、ここから互いに得点が伸びない。2Q終了間際に取石が連続得点をあげ、33-6で前半が終了。

後半は取石⑥⑦⑧⑩⑪、喜志④⑤⑥⑦⑩でスタート。互いに外からのシュートが決まり、流れよく始まる。少しでも差をつめたい喜志だが、取石のインサイドプレイに苦しむ。少ないチャンスをシュートにつなげていくが、なかなか差が縮まらない。取石ペースの流れは変わらず、55-13で3Qが終了。4Qは取石の激しいディフェンスからの連続得点から始まる。なかなか突破口を見いだせない喜志に対して、着々と得点を重ねた取石が79-13で2勝目を飾り、近畿大会への切符を手にした。

小野・尾後

平成29年7月29日 B① 10:00	和泉市立和泉中学校	10	14	9	10		43
八尾ウイング	大阪薫英女学院中学校	14	16	26	16		72

主審：誠光俊明 副審：田辺雄太

和泉④⑤⑥⑦⑧、薫英④⑤⑦⑧⑬でスタート。立ち上がり薫英が⑤のゴール下、⑧のポストプレイ、⑦のドライブでリードする。一方、和泉も⑤のミドルシュート、⑥のドライブなどで対抗する。1Q終了。2Q立ち上がり、和泉④の3Pで先制し、1点差まで詰め寄る。しかし、薫英は⑤のドライブなどでリードを許さず、和泉は残り5分でタイムアウトを取る。和泉は⑥のドライブ、④の3Pでリズムをつかみかけるが、薫英が④の3P、⑮のカウントプレイで30-24とリードを譲らず前半を終える。

後半立ち上がり、薫英⑬の連続ポイントで一気に突き放しにかかる。対する和泉も⑤⑧の個人技でくらくついでいくが、⑧⑮を中心とした薫英のインサイドプレイでじわじわとリードを広げられ、56-33と薫英がリードして3Q終了。4Q、負けられない和泉はディフェンスでプレッシャーをかけながら、⑤⑮のドライブで差をつめようとしていく。しかし、薫英は⑫の3P、⑭の1対1などで追従を許さず、72-43で薫英が勝利した。

岡本・郷司

平成29年7月29日 A③ 13:00	大阪薫英女学院中学校	24	10	19	18		71
八尾ウイング	高石市立取石中学校	13	16	10	12		51

主審：石川淳也 副審：北村仁

薫英④⑤⑦⑧⑬、取石⑥⑦⑧⑩⑪でスタート。薫英は速いパス回しから積極的なドライブで点数を重ねていく。対する取石はセンターのハイローや速攻で対抗するが、薫英の力強い攻めにファウルが重なる。1Qは24-13で薫英がリードを奪う。互いに粘り強いディフェンスで得点が入らないまま2分半が過ぎるが、取石が⑩のドライブで点差をつめる。薫英はポストをからめた速いパス回しからの合わせで追いつかせない。しかし、2Qラスト2分、取石⑩のジャンプシュートが決まりだし、さらに薫英のファウルも重なり、徐々に点差がつまる。34-29で前半を終える。

後半は薫英④⑤⑦⑬⑮、取石⑥⑧⑩⑪⑭で始まる。薫英が④⑤⑮と3連続ポイント。取石はポストでのシュートが決まらず、開始早々にタイムアウト。取石は⑧の連続ポイントでくらくつだが、流れには乗り切れず53-39で3Q終了。4Qでは薫英は⑮のドライブから始まり、点数を重ねていく。取石は⑩の3P、⑪のドライブでくらくつ。残り3分、点差が縮まらない取石はタイムアウトから、積極的なディフェンスで狙いにいく。しかし、チャンスは広がらず、着実にシュートを決める薫英が20点差をつけて勝利した。

両チームに近畿大会での活躍を期待したい。

有賀・郷司

平成29年7月29日 B③ 13:00	富田林市立喜志中学校	11	22	15	13		61
八尾ウイング	和泉市立和泉中学校	22	13	23	16		74

主審：西田智子 副審：杉山幹典

喜志④⑤⑥⑦⑭、和泉④⑤⑥⑦⑧でスタート。両チームともにハーフコートマンツーマンで守る中、和泉が⑧の3Pで先制する。さらに和泉は⑤のレイアップでリードを広げる。対する喜志は⑥のリバウンドシュートで応戦するも、なかなかシュートが決まらない。1Q中盤で喜志⑤のスクリーンプレイからのレイアップやジャンプシュートで点差を縮めるも、和泉⑦のゴール下プレイや⑮の3Pなどもあり、点差が再び広がり、11-22と和泉リードで1Qを終える。2Qに入ると、喜志④のレイアップがバスケットカウントで決まり、その後も④のフリースローや速攻からのレイアップ、⑤のジャンプシュートで点差を縮め、3点差となったところで和泉がたまたまタイムアウト。しかし、その後も喜志の攻撃は止まらない。和泉は⑥のドライブで応戦するが、喜志も⑤のドライブからのレイアップで譲らない。35-33で和泉が2点リードして後半を迎える。

3Qは一進一退の攻防が続く中、和泉が⑥⑮の得点でリードを広げ、10点のリードを奪う。4Qに入っても和泉は⑥を中心に得点を重ねる。喜志は④⑤⑦の得点で応戦するがリードが縮まらず、61-74で和泉が勝利し、決勝リーグの最後の試合を終えた。

村本・浅井